



よもぎ漢方
醗酵乳酸菌

乳酸堂



よもぎ乳酸菌

プロバイオティクス製剤

機能性飼料 A-飼料

—鶏用—



日本初！

沖縄で育った乳酸菌で、腸から健康に。



よもぎ乳酸菌の特徴

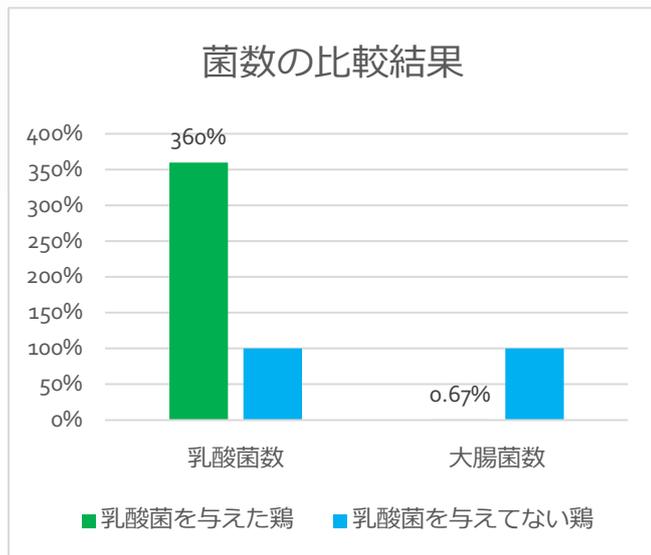
よもぎ乳酸菌は植物性乳酸菌（ラクトブランチラムノーサス YL399 株、ラクトブランチバチルスプラントルム YL198 株）を主な有効成分とする機能性飼料です。

薬用よもぎは沖縄の紫外線が強い環境で育つため、自らの細胞を守ろうとする働きがあり、その結果、従来のよもぎより抗酸化作用の強い乳酸菌が生まれます。

植物性桿菌のため通常の乳酸球菌に比べて発酵力が強く、胃酸などで消化されにくく、生きたまま腸まで届きます。1gあたり50億個以上も乳酸菌が働く事によりアミノ酸やビタミンといった有機分子の生成が促進されます。

鶏によもぎ乳酸菌を与えた結果

鶏の雛（8日齢）によもぎ乳酸菌を1ヶ月間、毎日0.5ml与えた研究結果



乳酸菌数の増加による効能

腸内フローラのバランス改善と免疫力向上

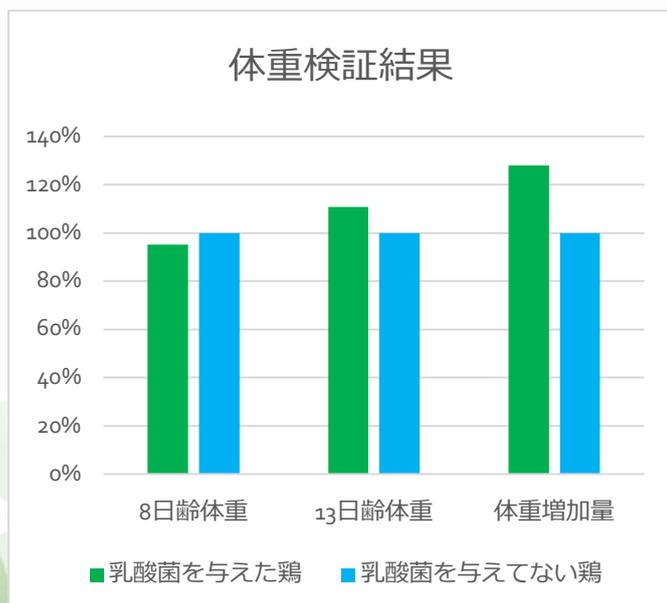
乳酸菌が増えることで腸内環境が整い、消化機能の向上や便秘改善が期待できます。また、免疫力が強化され、体全体の健康維持に役立ちます。

大腸菌数の減少による効果

有害菌の抑制と消化不良の軽減

大腸菌数が減ることで、悪玉菌の影響が抑えられ、消化不良や下痢などのトラブルが軽減されます。また、腸内フローラが改善され、全身の健康にも良い影響を与えます。

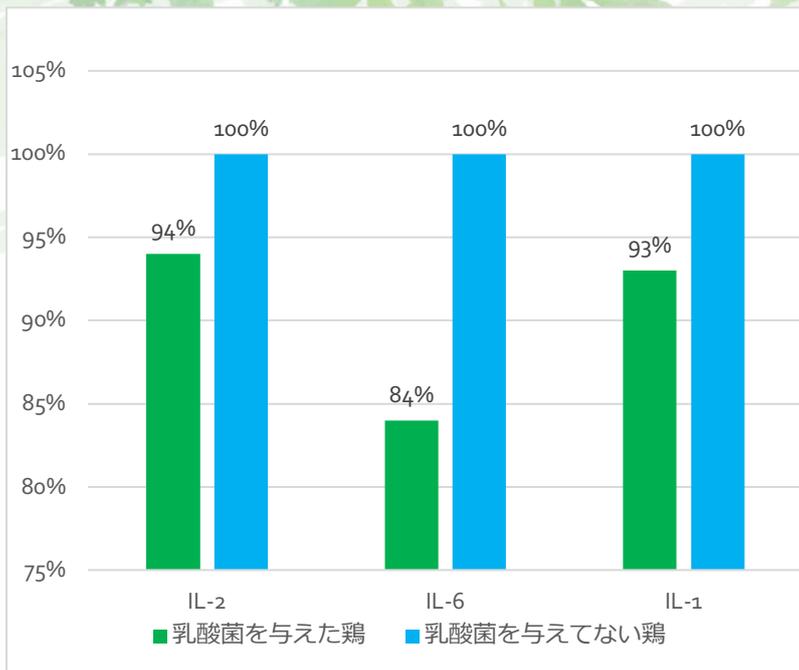
ひよこ（チャンキー種）の体重増加と飼料効率における検証結果



ひよこ（8日齢）に乳酸菌を0.2ml/日、6日間与えた実験群と日本チャンキー（株）発表の成長目標値を比較検証した。

※成長目標値を100%として数値化

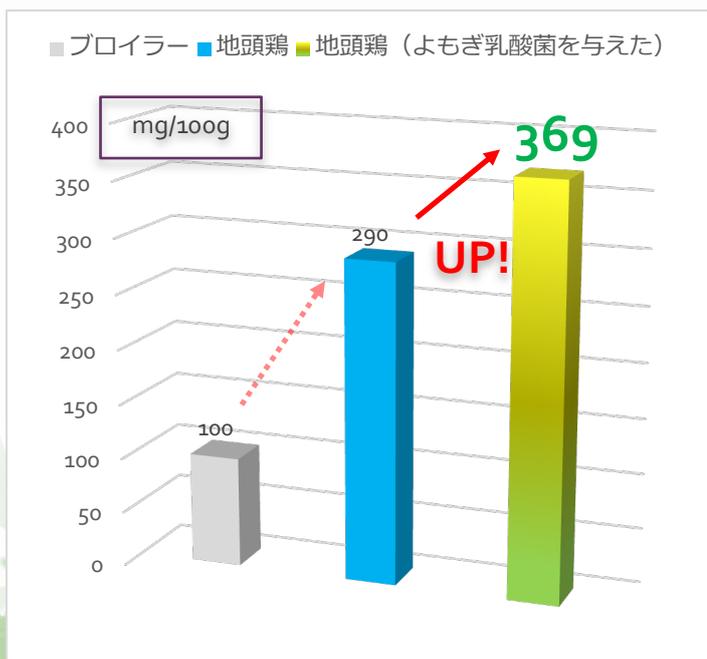
ひよこの血清炎症性サイトカインに対する効果検証



鶏のひな（8日齢）によもぎ乳酸菌を0.2 ml/日、1ヶ月間与えた鶏から摂取した血液からIL-2、IL-6、IL-1の量の結果検証

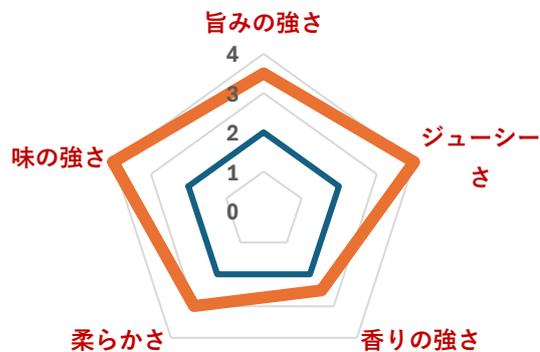
※対象群値を100%として数値化

旨み成分【イノシン酸量】の増加



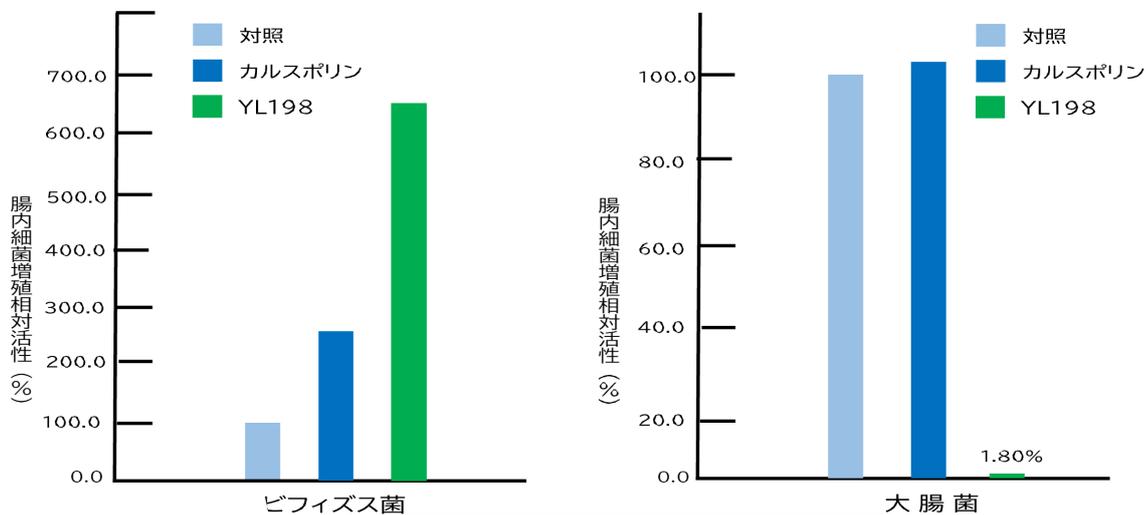
官能評価

- 通常飼育の地頭鶏
- 乳酸菌を与えた地頭鶏



他社との比較

■ カルスポリンとよもぎ醗酵乳酸菌 YL198株の有用菌、有害菌の増殖評価比較



*カルスポリンのデータはカルスポリンの社内資料から抜粋。
*YL198のデータは食環境研究所での試験結果より

摂取量

ブロイラー・地鶏の場合

1羽につき0.2から0.5 ml/日

採卵鶏の場合

1羽につき0.2から0.5 ml/日



よもぎ漢方
醗酵乳酸菌

乳酸堂

[https:// www.nyusando.com/](https://www.nyusando.com/)



お問い合わせ窓口：098-800-1031

info@nyusando.com

- ・製品のご購入についてのご相談
- ・事業提携の相談

直接弊社までお問い合わせください。